

# 「蟹気楼の見える街」 魚津

## ～みんなでつくろう 安心の街～

魚津市防犯協会 ☎23-1048（魚津市役所生活環境課内）・魚津警察署 ☎24-0110

### 第33回 地域安全・暴力追放魚津市民大会を開催

10月27日（月）午後6時30分から、新川文化ホール小ホールにおいて、「第33回 地域安全・暴力追放魚津市民大会」を開催しました。

大会では、村椿魚津市長（魚津市防犯協会会長）、奥村魚津警察署長から、日頃の防犯活動に従事していただいている皆様への感謝や、行政や住民、企業・団体が一体となった地域安全活動の推進に関する挨拶がありました。



魚津市長あいさつ

続いて、地域安全・暴力追放に関するポスター・標語の優秀賞受賞者表彰と、地区防犯組合において防犯活動に積極的に従事し地域安全に貢献された方への警察署長感謝状贈呈が行われ、金川魚津市議会議長から祝辞をいただきました。

その後、経田地区防犯組合の窪田組合長により大会宣言が読み上げられ、参加者の賛同を得て採択されました。

大会宣言後、戸田魚津警察署刑事生活安全課長による、魚津市の犯罪発生状況と特殊詐欺被害の防止に関する講話をいただきました。



受賞者代表謝辞



警察署長感謝状贈呈



## 警察官を名乗る者からの電話による特殊詐欺にご注意！ (話に付き合わず、すぐに切断・相談)

電話で警察官を名乗り、「あなた名義の銀行口座が犯罪に利用された」「あなた名義の携帯電話番号が犯罪に利用された」などと話して、現金をだまし取ったり、現金を振り込ませる手口の詐欺が増加しています。

- ・ 身に覚えのないことで県外の警察署に出頭を求められた
- ・ ビデオ通話やSNSでの連絡を求められた
- ・ 画像や映像で、警察手帳や逮捕状が送信されてきた
- ・ 口座の入出金を確認する、紙幣番号を確認するなどといった名目で現金の振込を求められた
- ・ 警察官を名乗る者からの電話と前後して、金融機関、電話会社、官公庁などの職員を自称する者から電話がかかってきた

それらは全て詐欺です。

最初は詐欺だと疑っていても、話していくうちに不安になり、だまされてしまうおそれがあります。

そうした電話がかかってきた時は、すぐに電話を切り、

**魚津警察署 (0765) 24-0110**

**警察相談ダイヤル #9110 または 076 (442) 0110**

に相談してください。

また、「自宅に相手が向かっている」「自宅に相手が来ている」といった緊急の場合は、110番通報してください。

### ● 国際電話からの着信にご注意を！

「+」から始まる電話番号

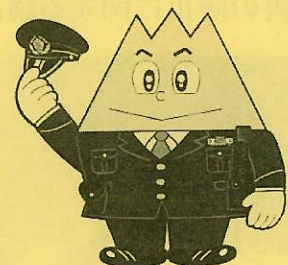
国際電話からの着信です。

特殊詐欺に利用されることがあります。

国際電話を利用しない場合がなければ、

**国際電話不取扱受付センター 0120-210364**

を利用して国際電話の着信を休止しましょう。







ジャイアントホイールにハートの夕日 魚津市ミラージュランド大観覧車  
(写真提供) 魚津保護区保護司 寺田健一氏



第22号 編集・発行  
魚津保護区保護司会  
魚津市更生保護事業協会



## 会長就任挨拶



魚津保護区保護司会  
会長

高島 勝

令和七年度魚津保護区保護司会定期総会において会長に選任されました下中島地区の高島勝です。平成九年五月に保護司として拝命を受け様々な事柄に取り組んでまいりましたが、この度先輩会員や同僚各位からのご承認をいただき身の引き締まる思いと共に、永年にわたる歴代保護司諸先輩の活動に対し改めて責任の重さを痛感する次第であります。これから保護司の皆様方や行政当局、関係機関のご協力、ご支援をお願い申し上げます、大役を務めさせていただきますと思います。

ボランティアとして日々活躍しております保護司も高齢化により毎年満期退任者が増加傾向にあります。安全安心な地域社会の実現には、保護司だけでなく様々な関係機関や団体、地域住民との連携が不可欠です。一層の協力関係の構築に努め、安全安心な地域社会、そして「誰一人取り残さない」共生社会の実現化に向け「心を一つに」作り上げていかねばなりません。その一環として「社会を明るくする運動」を起爆として、「富山ダルク」の協力のもと市内中学生を対

象とした薬物乱用防止教室を今年度も開催いたしました。最近薬物事犯が増え、「ちよつとだけ」といった気持ちのゆるみなどにより、保護対象者が増えるのではないだろうかと心配される状況です。このような活動を教室だけでなく家庭内でも話し合い、薬物乱用を許さない姿勢を私たちの身近な地域社会から育んでいきたいものです。そのためには、私達保護司一人一人が定例研修や諸行事など積極的に参加し、お互いに切磋琢磨し魚津保護司会を活気づけていけたら幸いです。また、新任会員の皆様は各々の職場でのエキスパートが多く、保護司会の活動を進めるうえでの即戦力と期待しています。大町コミュニティセンターにある更生保護サポートセンターを基に地域の情報発信と行政や関係団体と連携を深め活動を推進しつつ、各種部会を通じて一般市民向け公開研修会の開催など今後の処遇活動につなげていくとともに、雇用主会と連携して就労・居住問題を支援し安定した生活ができるよう私達保護司も共に勉強しなければいけないと思います。

様々な行事を通して、犯罪・再犯予防の活動を進めたいと思いますので会員をはじめ行政機関、関係団体のご支援ご協力をお願いします。



「社会を明るくする運動」は一部共同募金の配分金を受けて実施しました。





瑞宝双光章  
寺田 健一氏

春の叙勲に際し、はからずも、保護司として瑞宝双光章の拝受の栄に浴しました。五月に、皇居内の豊明殿にて天皇陛下の拝謁を受けることができました。

天皇陛下より「健康に留意されおのおの道で精励されるように」とお言葉を賜り、身の引き締まる思いでございます。

三十年間の保護司と内四年間の魚津保護区保護司会会長を務めてきました。保護司は、法務大臣から委嘱を受け、非常勤国家公務員としてボランティアで、犯罪や非行をした人達が、社会復帰など再出発しようとする立ち直りをサポートしています。

保護観察官、先輩保護司のご指導、助言を仰ぎつつ、今日まで継続できました。家族の協力、理解、そして皆様の心温かいご指導、ご支援を賜り深く感謝申し上げます。今後はこの榮譽を心に刻み、皆様と共に微力ではありますが、更生保護活動に尽くしていきたいと思っております。

令和七年度 受賞者紹介

保護司会

○全国保護司連盟理事長表彰

石崎よし子

木内 清光

○富山県知事表彰(県功労)

高島 勝

○中部地方更生保護委員会委員長表彰

前澤 律子

○中部地方保護司連盟会長表彰

寺崎 博之

中村 文夫

○中部地方保護司連盟会長表彰

寺田 知子

(家族功労)

岸本美佐起

木下 理佳

○富山保護観察所長感謝状

谷川 寛敬

(家族功労)

大森 茂憲

前澤 道雄

○富山県保護司会連合会長表彰

矢田 厚子

○魚津市表彰(厚生事業)

澤田 重孝

◇運動啓発のほり旗設置  
六月二十九日(日)  
市役所前公園・魚津総合公園



◇市長、市議会議長への総理大臣・知事メッセージ伝達式  
六月二十五日(水)

今年度も全国一斉に七月を強調月間とし、数々の行事を行いました。目標は『犯罪のない安全安心な地域社会を築くための取り組みを進めよう』  
・犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支えよう  
目標に向かって実施したいろいろな活動を紹介します。

第七十五回

『社会を明るくする運動』

◇ナイステレビにて  
社明運動PR映像放送

“社会を明るくする運動”ってなあに?どんなことをするの?私にできることは?皆さんの疑問に答えるような気持ちで放送を行いました。

どんな地域が安心安全か犯罪や非行を防止し、立ち直りを支えるためにはどうしたらいいかを考えてみる。家庭でも地域でも理解を深め認める気持ちや、優しいまなざしの見守りが大切です。

“社会を明るくする運動”は、どんなでも参加することが出来る活動です。私たち一人ひとりができることを考え、理解し行動することが、みんなが安心して暮らせる優しいまち魚津につながっていきます。

マスコットキャラクターのホグちゃん・サラちゃんとともに、社会を明るくする運動が皆様の心に留まることを期待してあります。



資料提供：魚津市

◇薬物乱用防止教室

七月一日(火)魚津西部中学校において、全校生徒を対象に、依存症リハビリ施設「富山ダルク」から講師を迎え、薬物依存について自らの経験を通して話や現在の薬物の状況を話していただきました。生徒たちは時折頷き、「スマホ」というワードが聞こえると、より真剣に前を向き聞く姿がありました。

後日学校からお礼と生徒の感想が届きました。  
○自分の身近に犯罪は潜んでいると実感した。  
○ダメといっても一回だけと迫られたり、断ることは実際には難しく勇気が必要だと知った。  
○信頼できる大人や友達、親に相談して薬物の誘いから自分を守りたい。

○周りに迷惑をかけ自分も精神的におかしくなることがわかり想像していたよりつらいことが起きるとわかった。  
など生徒たちが、薬物依存の怖さを自分ごととしてとらえていることがわかりました。

実体験ならではの話を聞くことで薬物乱用がもたらす弊害と誘いを断る勇気を感じたようでした。近年身近に迫りつつある違法薬物から自分を守る意識をこれからもより高めていって欲しいと思います。



◇中学生の社明運動作文発表

応募いただいた作品は次の通り受賞されました。

○第六十一回富山県中学生生活体験発表大会

富山テレビ放送社長賞

立花 優衣(魚津東部中三年)

○第七十五回社会を明るくする運動作文コンテスト  
優秀賞

寺崎 琉翔(魚津西部中三年)

魚津保護区保護司会

県外視察研修

十月三十一日(金)から十一月一日(土)と石川県金沢市にある北陸地方で唯一の少年院である湖南学院を視察しました。

湖南学院は、現在山手に位置していますが、発足当時日本海沿岸部に位置する「河北潟」という湖の南岸に設立されたことにより名づけられ、移転後も名称はそのまま引き継がれています。

老朽化に伴う施設改築後十三年とまだ新しい施設を見学し、毎日の指導や支援について説明を受けました。

畑を耕し、給食に使う野菜作りや金沢の伝統工芸友禅染など活動も多様でありました。

そして今回はこれまでの施設見学研修では経験のない、グループに分かれ施設職員と共に話し合う時間を設けていただきました。

院生の生活ぶりや教官の仕事に対する考えや苦勞、経験談など生の声を聞くことができ、実際の現状が良く把握できました。こちらからの質問にも丁寧に説明してもらい、有意義な研修であったと、



ほとんどの参加者から声が聞かれました。  
心身共に成長過程であり、まだまだ判断力、思考力等において課題の多い少年たちに対し、保護司としてどう向き合っていくか、この研修を学びとしてより進めていきたいと思っております。





# 魚津市更生保護女性会

■県更生保護連盟再犯防止活動

「ひまわりの集い」参加

令和七年七月十二・十三日と県内更生保護女性会十三団体による初の活動周知イベント「ひまわりの集い」が開催されました。県民会館で各団体活動紹介のパネルを掲示しました。

魚津市は、ホゴちゃん、サラちゃんの手作り人形の完成までを含む小学校での社明活動と、ホゴちゃんカルタづくりの作成の二つの事業を紹介しました。カルタづくりでは、市内の各小学校六年生を中心に絵札の絵や読み札の文言を生徒たちに考案してもらい、明るい社会をつくる思いをカルタに願い、託したことをパネルで伝えました。展示では、知事や県議、大学生等多くの方々から関心を寄せて頂き、またカルタを求めたいとの



声も頂きました。

これを機に、多くの子供たちがカルタを通じて地域との繋がりがや思いやる大切さを知ってほしいと思います。

## 地区活動報告

◇道下地区 道下敬老会

ダルクの太鼓に酔いしれる

地域の招待者(七十七歳以上)をお招きして、開催された「道下ふれあい敬老会」に、「ダルクの太鼓」が出演しました。更生総会に参加した仲間が今年の敬老会でぜひ「ダルクの太鼓」を観て聴いてもらいたいとの強い思いが実り、実現しました。



出席者からは「最高」「かっこいい」など大反響。演者の依存症から脱出したいとの熱意が伝わったようでした。

◇村木地区 地域の方との七夕づくり

お星さま お願い

六月二十四日

(火)村木コミュニティセンターで、地区のお年寄りや道下保育園の年長児と一緒に七夕づくりをしました。



園児は歌と将来の夢を一人ずつ元気に発表しました。その後、おばあちゃん達と一緒に笹に短冊をつけ「きれいやねえ」と楽しめました。

◇更生保護女性会総会

五月二十一日(水)、令和七年度の総会を開催しました。

飯田恭子氏を招き、「老いてあれこれ」の題目で講演して頂きました。ご自身の苦しかった体験をもユーモアたっぷりに語られ、年を取ることは非常に面白いと話されました。



老いを迎えることが前向きな気持ちになり、明るい社会を目指している私達にエール頂きました。

◇富山ダルク生活支援

十一月二十一日(金)「富山ダルク」への生活物資等の寄贈を行いました。

ました。各地区のコミュニティセンターに回収箱を設置し、地域の皆さんにもご協力頂きました。余剰品の回収も厳しい状況ですが施設への支援継続のため引き続きご協力お願いします。



◇養得園での夕食づくり

四人のメンバーで、「ほっこりする家庭料理が良いね」とメニューを決め、美味しく頬張る顔を思い浮かべながら作りました。

どうか健康で無事に社会復帰が出来ますようにと手紙を添え、一汁八菜の料理を盛り付けてきました。



## あとがき

激しい猛暑、加速する気候変動に体も心もついていけなくなりそうなか、ランドセルを背に黙々と歩く小学生と出合い、がんばっている姿に自分が励まされます。みんな支え合う温かい社会をめざして、これからもがんばっていきましょうと改めて思っています。

(岸本)